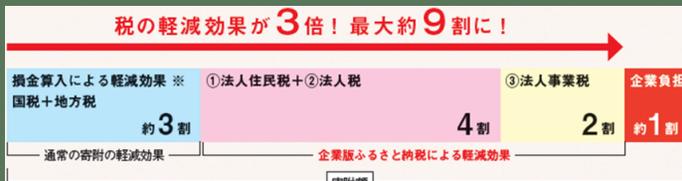




寄附控除割合のイメージ

通常の損金算入による軽減効果（約3割）と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減されます。実質的な企業様の負担が約1割に圧縮。



※企業が地方公共団体に寄附した場合は、その金額が損金算入されるため、寄附額の約3割（法人実行税率）相当額の税の軽減効果があります

税目ごとの 特例措置	①法人住民税	②法人税	③法人事業税
	寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）	寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

<留意事項>

- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象となりません。

寄附の流れ



寄附金のご入金を確認後、受領証を交付します。受領証は、寄附控除の申告を行う際に必要となりますので、大切に保管してください。なお、寄附対象事業の完了後に、事業費確定通知書を送付します。

お問い合わせ

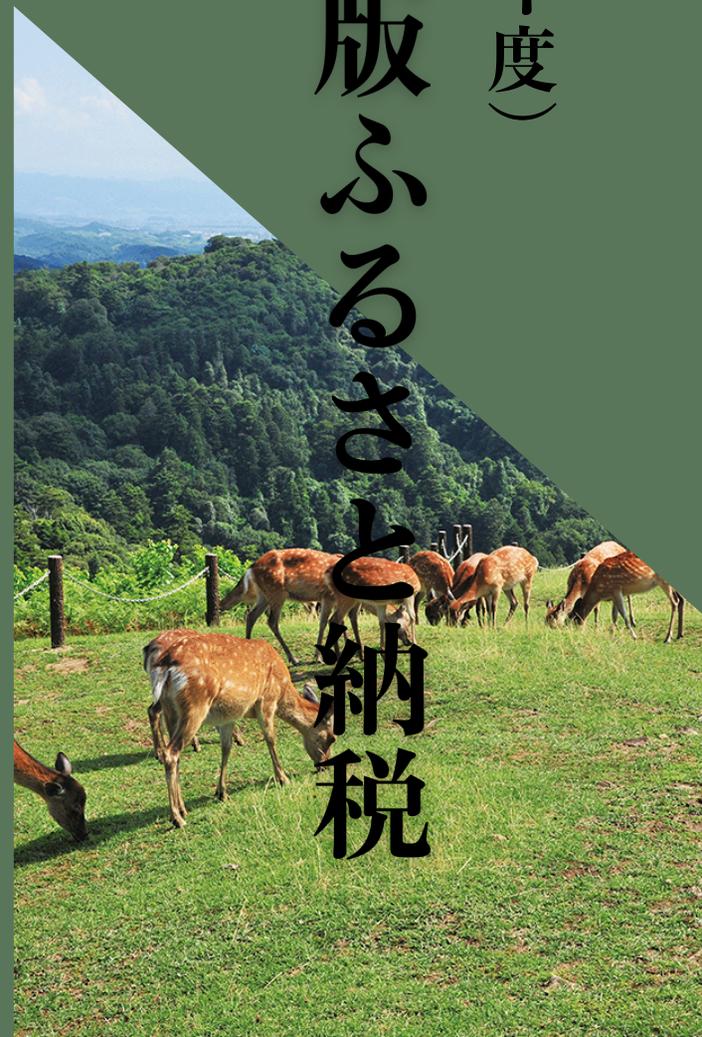
奈良市役所 総合政策部 総合政策課
 〒630-8580
 奈良県奈良市二条大路南一丁目1-1
 ☎0742-34-4786
 ✉sougouseisaku@city.nara.lg.jp



奈良市
 Old History,
 New Discovery.

（令和6年度）

企業版ふるさと納税



奈良市 nara-city

面積：276.94 km²

人口：34.8万人
（令和6年9月時点）



世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする観光資源を多く擁する国際文化観光都市であることに加え、東部地域など緑豊かな自然環境にも恵まれており、隣接する大阪や京都のベッドタウンとしても発展してきました。本市では、人口減少や少子化を克服し、活気ある奈良市を持続させることを目指して積極的に取組を推進しています。



1.子どもたちの笑顔を守る

プロジェクト

【地域教育課】

奈良市中学生・高校生等

海外夢応援プロジェクト補助金事業



市内在住の中学生・高校生等が、将来の夢を叶えるために海外で探究学習をすることにより、学生時代により多様な経験と、自ら考え行動できるような体験をすることでグローバルな視点で物事を考える能力を備えながら、自らの力で未来を切り開くチャレンジ精神を養うことを目的とする補助金事業です。

【子ども育成課】

フードバンク事業



物価高騰等によって、苦しい経済状態で子育てをするひとり親家庭や、子育てをしている生活困窮家庭の経済的負担を軽減し、特に子どもの日々の生活や成長に不可欠な「食」の支援を実施します。

2.まちの新たな魅力創出プロジェクト

【農政課】



元気なら農業活性化プロジェクト

奈良市の東部地域における高齢化の進行に加え、「農業の担い手の確保」「耕作放棄地の削減」「農業所得の向上」といった課題の解決を図るとともに、奈良市の観光、飲食、福祉などと連携しながら農業を主体とした新たな働き方の受け皿構築を目指す事業を実施します。本事業では、高収益作物であるキウイフルーツの耕作放棄地等における試験栽培、新規就農者確保のためのイベント及びセミナー等の実施、特産品開発を行っています。

4.「学生のまち」プロジェクト

【総合政策課】



奈良市「学生のまち」プロジェクト

3.産業の持続・発展プロジェクト

【産業政策課】



創業支援施設「BONCHI」機能強化整備事業

奈良市における労働力の核となる人口の県外流出に歯止めをかけるため、仕事を生み出す起業支援や、仕事を呼び込む企業誘致の推進とともに情報発信を強化していく必要があります。創業支援施設であるBONCHIを拠点に市内における「しごと」の多様な選択肢を提示し、新しい働き方、価値観を提供していくことで、BONCHIが奈良市＝「はたらくまち」であることを発信していくシンボルになり、産業の新陳代謝を加速する存在となることを目指します。

奈良市には7つの大学が立地し、約16,000人（令和4年時点）の学生が在籍。大学数は中核市2位、学生数は中核市7位と同規模自治体の中でも多く、「学生のまち」となっています。奈良市ではそんな学生たちを支援するため、奈良市「学生のまち」プロジェクトを実施中。頂いた寄附金は基金に積み立て、来年度以降の奈良市「学生のまち」プロジェクト関連事業に活用予定です。